

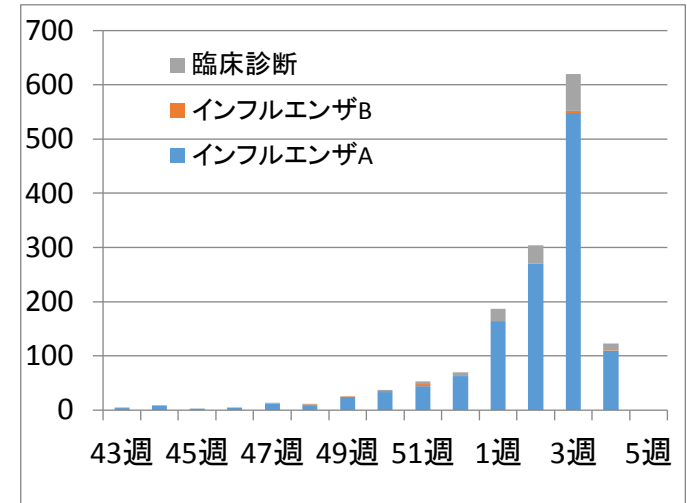
今シーズンのインフルエンザの状況

2017年1月23日

(1月23日までの報告です 1/6~1/22が第3週です)

	43週	44週	45週	46週	47週	48週	49週	50週	51週	52週	1週	2週	3週	4週	5週	合計
インフルエンザA	4	9	3	5	12	8	25	33	44	63	164	271	548	109	0	1298
インフルエンザB	1	0	0	0	1	3	1	2	4	0	0	0	4	1	0	17
臨床診断	0	0	0	0	1	1	0	2	5	7	23	33	68	13	0	153
総診断数	5	9	3	5	14	12	26	37	53	70	187	304	620	123	0	1468

(52週は2016.12.26~2017.1.1.までです。)



1月23日までに23の医療機関より1468例の報告がありました。A型が1298例で、B型が17例です。臨床診断例は、家族・職場・クラスなどでの感染でほぼA型です。2014-2015シーズンの流行に似ています。先シーズンにB型の大きな流行があったので、今シーズンはB型の大きな流行のないと予想しています。第2週の奉告数は304例でしたが、第3週は620例と2倍になりました。第4週の1日目(23日)の報告124例でしたので、さらに報告数は増えるものと思われます。第3週は、東中・東小・秦小・久代幼稚園でクラス内流行があり、学年閉鎖や学級閉鎖となりました。下のグラフより、第3週の報告数の半数は15歳以下で、小児での流行が始まったのが分かります。今週(第4週)になり、東中1・2年が学年閉鎖となり、総社小や常盤幼稚園など大規模施設で臨時休業が出ています。東中・東小などの流行は今週でほぼ終息し、今後は総社小や西中学区で流行が起こると思われます。マスクの着用・手洗いなど予防に努めて下さい。

地域にウイルスが拡大すると、どこで感染したか不明の症例も多く、インフルエンザに罹患しても「軽いかぜ症状」ですむ人もいます。体調不良の場合は、無理をせず休んで、周囲の人に感染させないようにしましょう。インフルエンザでは、夜に発熱があっても朝には解熱していて比較的元気な場合もあります。丸1日発熱がないことを確認して登園・登校させるようにして下さい。

